Ⅲ 健康增進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三21 (第2次)」の推進について

上十三地域においては、「健康日本 21」「健康あおもり 21」を受け、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、「栄養・食生活」「こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」に重点をおいた「健康上十三 21」を策定し、平成 14 年度より推進してきた。計画最終年の平成 24 年度に行った最終評価では、全体の 51%が目標達成、改善傾向となっている中、こころの健康づくりに課題が残っている。

「健康上十三 21 (第 2 次)」では、第 1 次計画の最終評価と当地域の課題を踏まえ、「自殺予防」の推進と「喫煙防止」「肥満予防」を柱とした生活習慣病予防対策を推進することとしている。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会や研修会、会議等を通して市町村計画への支援を行った。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として保健所長が委嘱され、担当職員等と共 に各市町村の推進協議会等へ出席し、市町村の健康課題及び対策について把握し、保健活 動の推進に向け支援を行った。

市町村名	期日	会 議 名	出席者
	平成 29 年 10 月 16 日	こころの健康づくり部会	精神保健担当者
	平成 29 年 11 月 2 日	母子保健部会	業務都合のため、欠席
十和田市	平成 29 年 11 月 7 日	生活習慣病予防部会	健康づくり担当者
	平成 29 年 11 月 15 日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、 健康づくり担当者
三沢市	平成 29 年 10 月 17 日	健康推進対策協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成 29 年 11 月 16 日	歯の健康づくり推進委員会	歯科保健担当者
野辺地町	平成 29 年 5 月 29 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
到沙地門	平成 29 年 11 月 20 日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
七戸町	平成 30 年 1 月 17 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
大 戸 町	平成 29 年 6 月 28 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成 30 年 2 月 15 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
横浜町	平成 29 年 7 月 10 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成 30 年 2 月 26 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成 29 年 10 月 3 日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
東北町	平成 30 年 1 月 12 日	こころの健康づくり対策 協議会	地区担当者
六ヶ所村	平成 29 年 12 月 22 日	健康づくり推進協議会	地区担当者

(4) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、 また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生 活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、「健康上十三21 (第2次)」で重点的取り組みに位置付けている喫煙防止について、受動喫煙防止対策を推進するための研修会、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発及び空気クリーン施設等制度の登録を推進した。

ア 健康教育

十和田消防署職員を対象とした研修会において普及啓発、情報提供を行った。

開催回数	日時	場所	内容	講師名	対象者 参加人数
1	平成30年	十和田消防	受動喫煙による健康被害及び	上十三保健所	十和田消防署職
	2月8日	本部	禁煙方法、メリットなど	健康増進課	員44名
				技師 船水 祐志	

イ 普及啓発 (広報活動)

日時	場所	テーマ・内容	対象者 人数
平成29年	上十三保健所	・受動喫煙による健康被害等の情報を	来所者
5月1日~		所内に掲示し、普及啓発	
5月31日			
平成29年	上十三保健所、	・世界禁煙デーに関するポスター掲示	各庁舎職員
5月31日	十和田合同庁舎、		来庁者
	七戸庁舎		
平成29年	上十三保健所、	オリジナルリーフレットをメール配	上北地域県民局職員
5月31日	十和田合同庁舎、	信(受動喫煙、「空気クリーン施設」・	
	七戸庁舎	「空気クリーン車」推進事業の普及	
		啓発)	
平成29年	十和田合同庁舎	・世界禁煙デー、禁煙週間の周知及び受	各庁舎職員
5月31日		動喫煙防止に関する管内アナウンス	来庁者
~6月5日		(1 日 2 回)	
平成29年	親と子のよい歯の	・オリジナルリーフレット配布	親と子のよい歯のコンク
6月10日	コンクール会場	(受動喫煙、「空気クリーン施設」・	ール参加者及び、来場者
	(イオンスーパー	「空気クリーン車」推進事業の普及	150名
	センター十和田	啓発)	
	店)	・オリジナルポケットティッシュ配布	
通年	食品衛生講習会	「空気クリーン施設」・「空気クリーン	参加者(食品衛生の関係
		車」推進事業のチラシ配布	者)へ配布

ウ 『空気クリーン施設(受動喫煙防止対策実施施設)』・『空気クリーン車(受動喫煙防止対策実施車両)』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への 悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置 を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者等に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に「空気クリーン施設」の登録を促進した。また、平成29年度から本庁が実施している青森県健康経営認定制度により標記事業が促進されている。

空気クリー	ン施設	方	色設種	別・日	「町村	別登飯	水状况		(平成30年3月末)				
*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	12	10	43	41	9	0	25	0	23	0	3	7	173
三沢市	7	4	10	21	9	3	14	0	5	1	4	13	91
野辺地町	2	5	12	15	3	5	4	0	2	0	1	13	62
七戸町	6	7	15	13	4	7	12	0	2	0	9	0	75
六 戸 町	3	3	15	6	1	4	1	0	2	0	2	0	37
横浜町	2	5	5	4	0	1	1	0	3	0	1	0	22
東 北 町	5	0	14	4	3	0	4	0	1	0	2	1	34
六ヶ所村	1	0	15	2	1	0	10	0	1	0	0	5	35
合 計	38	34	129	106	30	20	71	0	39	1	22	39	529

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況 (平成30年3月末)

*施設種別:1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所 8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー等の車輌

- *喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、 禁煙のみとなった(分煙は認めず)。
- *青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となった。

(5) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健 康づくりの推進に役立てることを目的に研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期日	場所	内容	参加者数
			・平成28年度事業実施状況及び収支決	
	双代9.0年		算報告について	保健協力員 8名
1	平成29年 6月1日(木)	上十三保健所	・平成29年度事業計画について(事業計	市町村職員 8名
	0月1日(水)		画及び予算)	保健所職員 3名
			・平成29年度合同研修会について	

回数	期日	場所	内 容	参加者数
			・平成29年度各市町村保健協力員活動 計画について・役員改選について・その他	
2	平成29年 7月31日(月)	上十三保健所	・平成29年度合同研修会の進め方及び 役割分担について ・県協議会総会・役員会報告について ・各市町村保健協力員活動の情報交換に ついて ・その他	保健協力員 7名 市町村職員 8名 保健所職員 4名
3	平成30年 3月5日 (月)	上十三保健所	・平成29年度事業実施状況について(事業実施状況、予算の執行状況)・平成30年度事業計画について・その他・情報提供:上十三保健所健康増進課課長(総括主幹)舘田有佳子	保健協力員 8名 市町村職員 8名 保健所職員 2名

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期日	場所	内 容	参加者数
平成29年9月21日(木)	東北町民文化センター	 ・平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画 ・グループ演習 テーマ:「保健協力員の役割について」 ・講演 テーマ:「短命県返上、最新の生活習慣病予防について」 講師:弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授 中路 重之 氏 	管内保健協力員 106名 市町村事務局等 15名 保健所事務局等 5名 計 126名

ウ 管内市町村保健協力員数

(平成29年4月1日現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十 和 田 市	2 0 4	六 戸 町	8 0
三 沢 市	1 1 2	横浜町	6 3
野 辺 地 町	9 3	東 北 町	174
七戸町	1 7 9	六 ヶ 所 村	6 1
		計	966名

2 母子保健事業関係

(1) 療育相談(肢体不自由児等)

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を保健所内で年12回実施した。 (平成29年度)

-t: mr ++ 5	+n ⇒k F		再揭	
市町村名	相談人員	要治療	治療不要	経過観察
十和田市	28 (6)	3 (0)	3 (3)	22 (3)
三沢市	12 (11)	0 (0)	1 (0)	11 (11)
野 辺 地 町	3 (3)	0 (0)	3 (3)	0 (0)
七戸町	5 (4)	2 (2)	2 (1)	1 (1)
六 戸 町	4 (4)	0 (0)	0 (0)	4 (4)
横浜町	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)
東北町	6 (6)	0 (0)	0 (0)	6 (6)
六ヶ所村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
管 外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	60 (36)	5 (2)	11 (9)	44 (25)

()は新規利用者再掲

(2) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児慢性特定疾患医療受診 券交付時における面接や訪問、医療意見書により依頼があった児の状況把握等を行い、支 援強化を図った。

(平成29年度)

	専門医による相談					健師による相談指導			
事業内容	小児慢性 特定疾患	未	熟	児	家庭訪問	家庭訪問 面接相談			
相談件数	0		0		2	2 3	0		

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業(小児慢性特定疾病医療費助成事業)

長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に活かすことを目的とした制度である。

(H27.1.1 に法施行。旧事業: S49-H26 小児慢性特定疾患治療研究事業) 平成29年4月1日に14疾患群778疾病(18疾病追加)となり、平成30年4月 1日には16疾患群813疾病(35疾病追加)に整理された。

		1						1	1	
	市町村 疾患群	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	5	4		3	1		1	2	16
02	慢性腎疾患	5	4	1	1	1	1	2	1	16
03	慢性呼吸器疾患	2	3							5
04	慢性心疾患	13	7	3	6	2		5	2	38
05	内分泌疾患	9	9	1	4	4	2			29
06	膠原病	3	1			1		1		6
07	糖尿病	3	4					1	1	9
08	先天性代謝異常									0
09	血液疾患	2	1	1	1	1				6
10	免疫疾患	1	2	1		1			1	6
11	神経·筋疾患	3	2			1				6
12	慢性消化器疾患	2	2	1		1		1		7
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2			1					3
14	皮膚疾患									0
	計	50	39	8	16	13	3	11	7	147

(4) 小児慢性特定疾病児童手帳(ひまわり手帳)交付事業

小児慢性特定疾患の対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳(ひまわり手帳) を交付している。

(平成29年度)

	疾患群	件数
01	悪性新生物	2
02	慢性腎疾患	2
03	慢性呼吸器疾患	
04	慢性心疾患	9
05	内分泌疾患	2
06	膠原病	1
07	糖尿病	1
08	先天性代謝異常	
09	血液疾患	1
10	免疫疾患	
11	神経·筋疾患	1
12	慢性消化器疾患	2
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	1
14	皮膚疾患	
	計	2 2

(5) 管内市町村妊婦連絡票実施状況

	妊娠届出数	妊婦連絡票提出数	妊婦保健指導報告		打	言 事 到 女 川				打選 ブ 治 別	言事がた川		保健指導を実施妊婦連絡票の提		妊産婦連絡票	
		394	書発行数	~	12~	20~	28 週	産	窓	訪	電	その	した数出はないが	受四	P ii	勺 尺
市				11 週	19 週	27 週	~	後	П	問	話	他	が、	型数	妊 婦	産 婦
町人村人	A	В	С	d	е	f	g	h	i	j	k	1	М	N	О	р
名		(B/A)	(C/B)	(d/C)	(e/C)	(f/C)	(g/C)	(h/C)	(i/C)	(j/C)	(k/C)	(1/C)	(M/A)		(o/N)	(p/N)
十和	364	360	360	292	60	4	2	2	360	0	0	0	2	39	2	37
市		(98.9)	(100.0)	(81. 1)	(16.6)	(1.1)	(0.6)	(0.6)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.5)		(5. 2)	(94. 8)
三沢市	371	367	367	335	29	1	1	1	367	0	0	0	5	41	4	37
市		(98. 9)	(100.0)	(91.3)	(7.9)	(0.3)	(0.3)	(0.3)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.4)	41	(9.8)	(90. 2)
野辺	65	65	65	56	9	0	0	0	63	2	0	0	0	0	2	7
地町		(100.0)	(100.0)	(86. 2)	(13.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(96. 9)	(3. 1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	9	(22. 2)	(77.8)
七戸町	75	75	75	65	7	1	1	1	75	0	0	0	0	0	0	8
町		(100.0)	(100.0)	(86. 7)	(9.3)	(1.3)	(1.3)	(1.3)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	8	(0.0)	(100.0)
六	68	68	68	60	8	0	0	0	65	0	3	0	0		0	3
六戸町		(100.0)	(100.0)	(88. 2)	(11.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(95.6)	(0.0)	(4.4)	(0.0)	(0.0)	3	(0.0)	(100.0)
横	19	18	18	16	2	0	0	0	18	0	0	0	1		1	3
横浜町		(94. 7)	(100.0)	(88.9)	(11. 1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(5.3)	4	(25. 0)	(75. 0)
東	98	98	98	88	10	0	0	0	98	0	0	0	0		1	9
東北町		(100.0)	(100. 0)	(89. 8)	(10. 2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	10	(10.0)	(90.0)
六ヶ	69	67	67	61	5	1	0	0	67	0	0	0	2		3	13
所村		(97. 1)	(100.0)	(91.0)	(7.5)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(2.9)	16	(18.8)	(81. 3)
	1, 129	1, 118	1, 118	973	130	7	4	4	1, 113	2	3	0	10		13	117
計		(99.0)	(99.0)	(87. 0)	(11.6)	(0.6)	(0.4)	(0.4)	(99.6)	(0.2)	(0.3)	(0.0)	(0.9)	130	(10.0)	(90.0)

()は%

(6) 管内市町村未熟児情報共有システム実施状況

(平成29年度)

	低出生		未児出連票理	1000 g 未満		生時体 1500 ~ 2000 g 未満	至 2000 ~ 2500 g 未満	2500 g 以上	在 妊娠 22~ 34 週 未満	E胎週 妊娠 34~ 37 週 未満	数 妊娠 37週 以上	未熟児 等訪問 指導連 絡票発 行数
十和田市	35	13	22	4	1	3	10	4	7	11	4	18
三沢市	26	6	18	3	1	2	6	6	5	7	6	17
野辺地町	8	3	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
七戸町	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六戸町	4	1	5	3	1	0	1	0	3	1	1	4
横浜町	2	2	2	0	0	0	1	1	0	0	2	2
東北町	8	4	8	0	3	0	4	1	4	3	1	9
六ヶ所村	7	2	7	0	0	1	3	3	0	2	5	6
合 計	97	33	63	10	6	7	25	15	19	25	19	57

(7) 母子保健ネットワーク会議等 ― 妊産婦支援体制整備事業―

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制の整備を推進している。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に 係る協議等を行った。

期日	場所	出席者	内 容
平成 30 年 3月1日	十和田市民交流プラザ「トワーレ」多目的研修室	・市町村:18名 ・児童相談所:1名	(1)情報提供 ①管内における妊産婦・未熟児等情報共有システム実施状況について ②要連絡・指導妊産婦連絡票事例の支援状況について (2)意見交換 「上十三地域における妊産婦への切れ目ない支援を進めるために」

イ 平成29年度市町村開催会議への支援 ※会議等への出席なし。

(8) 産後うつ病の予防対策推進事業 ― 妊産婦支援体制整備事業―

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面のサポート体制の推進を図り、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

期日	場所	参加者数	内 容
平成30年3月1日	十和田市民交流プラザ 「トワーレ」多目的研修 室		管内医療機関での EPDS 普及状況、市町村との連携状況等意見交換した。

イ EPDS 等(虐待例)妊産婦のカンファレンス

※市町村でカンファレンスを実施するなど対応しており、保健所への相談件数はなかった。

(9) 乳幼児の虐待予防に関すること

市町村からの求めにより出席し、情報提供及び助言を行った。

ア 市町村要保護児童対策協議会への出席

市町村名	代表者会議	出席者
十和田市	平成29年6月22日	健康増進課長
三沢市	平成29年6月20日	健康増進課長
野辺地町	平成29年7月7日	健康増進課長
七戸町	平成29年6月30日	健康増進課長
六戸町	_	_
横浜町	_	_
東北町	平成29年6月2日	健康増進課長
六ヶ所村	平成29年7月6日	健康増進課長

(10) 女性健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日:月1回(毎月第3木曜日) 受付時間:10:00~10:30

(イ)場所:上十三保健所 第1相談室

(ウ) 担当者:保健師

(/) 15 3 16 .	NV VC PVP	
	来所相談 実人員 0名(延0件)	
	〈内訳〉	
相談件数	定期 0名(延0件)	
	随 時 0名(延0件)	
	電話相談 実人員 2名(延2件)	
	思春期女子の健康相談	0件
	妊娠、避妊に関する相談	0件
担狄西索	不妊に関する相談	0件
相談内容	婦人科疾患、更年期障害に関する相談	0件
	メンタルケア	0件
	その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談	2件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 76名(延138件)

(イ) 不妊専門相談センター利用者 1名

3 歯科保健事業関係

(1) 親と子のよい歯のコンクール実施状況

一般社団法人青森県歯科医師会との共催により健康な歯をもつ母と子を表彰し、歯科保健に対する幼児や父母及び地域社会の関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

期日	平成 29 年 6 月 10 日 (土) 13:00~15:00
場所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	134 組 参加者:38 組
講評	上十三歯科医師会長 黒田 雅仁氏

審査の結果:最優秀賞 野辺地町の親子1組

優秀賞 十和田市の親子2組

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

喫食者の健康増進を図ることを目的に給食施設を巡回し、施設における栄養管理の把握及び改善指導等を実施した。また、給食施設の栄養管理担当者、調理従事者のスキルアップを図るため、管理栄養士、栄養士、調理師等を対象に研修会を開催した。

ア 巡回指導

			特定多数供給する	大に対し 施設	て継続して	て食事を				
	特定給食施設		1回あた		1回あたり50		計		◇ 公⇒1.	
			食以上提供する		食未満提供する				総計	
				施設		施設				
	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士	栄養士		
	有	無	有	無	有	無	有	無		
巡回施設数	2 1	1	2 2	4	2	2	4 5	7	5 2	
対象給食 施設数	4 1	9	5 8	2 2			99	3 1	1 3 0	

イ 研修会

期日	場所	対 象	参加者数	内 容
平成 29 年 6 月 27 日	十和田市民文化センター	給食施設の 栄養士、調 理師等	219名	1 食中毒予防と衛生管理について 上十三保健所 生活衛生課 主査 東海林 明子 2 給食施設の栄養管理について ・最近の食に関する情報 ・巡回指導及び栄養管理の状況 ・健康上十三21(第2次)計画の推進 について 上十三保健所 健康増進課 主幹 磯嶋 利恵子
平成 29 年 7月 19日	十和田市東公民館	十和田・六 戸地区保育 園の給食担 当者		1 幼児の肥満予防について上十三保健所 健康増進課主幹 磯嶋 利恵子
平成 29 年 12 月 11 日	十和田市東公 民館	病院、介護 老人保健施 設、老人ホ ーム、市町 村等の管理 栄養士、栄 養士	33名	1 「栄養食事情報提供の必要性について」 「嚥下調整食について」 青森県立保健大学 准教授 齋藤長徳 氏 2 演習「栄養食事情報提供書を書いてみよう」 3 グループワーク「栄養食事情報について」 講評 青森県立保健大学 准教授 齋藤長徳 氏

(2) 栄養成分表示、虚偽誇大表示に関する指導

ア 栄養成分及び健康の保持増進に係る表示指導

食品表示法第4条、第5条及び健康増進法第31条第1項に基づき、栄養成分及び健康の保持増進 に係る食品表示について相談及び指導を実施した。

相談: 42件、指導:3件

イ 栄養成分表示に係る講習等

栄養成分表示の義務化に向けた研修会において、講習を実施した。

期日	会場	参加 者数	主催
平成29年7月7日	小川原湖交流センター	2 1	六景楽市推進委員会
平成30年1月19日	六ヶ所村中央公民館	2 1	六ヶ所村商工観光課
平成30年2月20日	JAとわだおいらせ十和田湖支所	2 9	十和田湖ふるさと活性化友の会

(3) 食生活改善推進員の育成

管内食生活改善推進員会の活動を支援し、組織の育成を図った。

ア 役員会・会長会議等

会議名	場所	回数
三役員会	上十三保健所	1 回
監査会	上十三保健所	1 回
管内市町村会長会議	上十三保健所他	5 回

イ 総会・研修会

期日及び内容	参加者数
日時:平成29年5月16日(火)10:30~14:00	
場所:十和田市東公民館	
【総会】 ・平成28年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画及び予算案 ・役員改選 【研修会】	会 員:47名 市町村:9名 保健所:3名
講演 「上十三保健所管内の取組と食生活改善推進員に期待すること」	
講師 上十三保健所 健康増進課 主幹 磯嶋 利恵子	

ウ 管内市町村食生活改善推進員数

(平成29年5月16日現在)

	市町村名		会 員 数		市町村名		会 員 数
+	和 田	市	182名	六	戸	町	30名
三	沢	市	111名	横	浜	町	26名
野	辺 地	町	3 9 名	東	北	町	73名
七	戸	町	28名	六	ケ所	村	46名
					計		535名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 市町村栄養改善業務支援事業連絡調整会議及び研修会 管内市町村栄養改善業務担当者のスキルアップを目的に会議と研修会を開催した。

	期日	場所	参加者数	内 容
1	平成 29 年 5 月 31 日	東北町上北保健福祉センター	9名	1 話題提供 「市町村栄養士の人材育成ビジョン を考えるために」 東北町役場保健衛生課 課長補佐 小沼 奈緒美 氏 2 グループワーク
2	平成 29 年 7月 28日	野辺地町健康増進センター	8名	1 話題提供 「特定保健指導、糖尿病性腎症重化 予防事業」 野辺地町健康づくり課 主任管理栄養士 新井山 静 氏 2 グループワーク
3	平成 29 年 8月 25 日	上十三保健所	8名	【連絡調整会議】 1 新任期研修(事業見学)について 2 飲食店麺類塩分改善事業について 3 公衆栄養学臨地実習について 話題提供者:東北町保健衛生課 課長補佐 小沼 奈緒美 氏 【研修会】 1 情報交換 「健康増進計画の推進に向けた各 市町村の取組について」 2 災害時の栄養、食生活支援について ・平常時のセルフチェック ・演習「避難所運営ゲームHUG」
4	平成 29 年 10 月 31 日	六ヶ所村保健 相談センター	9名	1 話題提供 「時間栄養学」 六ヶ所村保健相談センター 主幹 橋本 奈央 氏 「地域栄養活動(妊産婦)」 東北町保健衛生課 栄養士 向井 庸平 氏 2 グループワーク
5	7,000	七戸町天間林保健センター	9名	 話題提供 「地区組織の育成」 七戸町健康福祉課 栄養士 小坂 夏紀 氏 レシピの説明、交換 グループワーク

イ 市町村への支援

市町村名	期日	研修会等
三沢市	平成 29 年 8 月 29 日	食生活改善推進員養成講座
七戸町	平成 29 年 8 月 7 日	新任期行政栄養士への支援
	平成 29 年 4月 14日	新採用行政栄養士への支援
六戸町	平成 29 年 9月 19日	条件还非关州准 县美术装应
	平成 29 年 9月 21日	食生活改善推進員養成講座
古小町	平成 29 年 4月 25 日	食生活改善推進員会研修会
東北町	平成 29 年 12 月 15 日	新任期行政栄養士への支援

(5) 青森のおいしい健康応援店認定事業

住民が外食等を利用する際に自分にあった適切なメニューを選択できるよう、肥満予防や食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加を踏まえた食事を提供している飲食店等を青森のおいしい健康応援店として認定した。

新規認定店舗数 : 16件(平成29年度末延べ22件)

(6) 「野菜料理を"+1品"」運動

住民が栄養バランスの良い適切な食習慣を身につけることができるよう、野菜の摂取量増加に向けて 普及啓発した。

ア 健康教育等での普及啓発

研修会、講習会等において、1日に必要な野菜量や摂取量増加のポイント、野菜料理のレシピ等を掲載したチラシを配布し普及啓発した。

実施回数:16回

对 象 者:食生活改善推進員、給食施設従事者、食品製造·飲食店関係者、小中

学校の養護教諭等

参加者数:770名

イ 関係機関との連携

特定給食施設等栄養管理指導事業巡回指導において、「野菜料理を"+1品"」のチラシを配付し、入所者及び利用者、職員等への普及を依頼した。また、チラシを希望した町と病院には提供し、健診の事後指導や患者の栄養指導での活用が図られた。健康づくりイベントでの活用として、媒体「野菜ののぼり」の貸し出しも行った。

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(平成29年度)

/ 相种障害有少	> 111 121	4170.1		(1)L			(120, 2	9年度)
医療区分				入	院			
市町村名	総	》数	小 計	措置入院	医療保 護入院	その他	通院	その他
	男	572	79	5	74		493	
十和田市	女	719	110	1	109		609	
	計	1, 291	189	6	183		1, 102	
	男	276	34	2	32		242	
三 沢 市	女	383	40		40		343	
	計	659	74	2	72		585	
	男	103	28		28		75	
野 辺 地 町	女	130	24		24		106	
	計	233	52		52		181	
	男	119	20		20		99	
七戸町	女	145	31		31		114	
	計	264	51		51		213	
	男	81	16		16		65	
六 戸 町	女	90	13		13		77	
	計	171	29		29		142	
	男	33	4		4		29	
横 浜 町	女	35	4		4		31	
	計	68	8		8		60	
	男	131	24		24		107	
東北町	女	173	28		28		145	
	計	304	52		52		252	
	男	62	8		8		54	
六ヶ所村	女	62	9		9		53	
	計	124	17		17		107	
	男	4	4	2	2		0	
管外	女	1	1		1		0	
	計	5	5	2	3		0	
	男	1, 381	217	9	208		1, 164	
合 計	女	1, 738	260	1	259		1, 478	
	計	3, 119	477	10	467	0	2, 642	

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成29年度)

	申請等別		指定医に よる診察	措置	非措置	非措置者	音の状況
申請	通報	計	はる診察 件数	11 旦	介 相	入院	非入院
0	1 6	1 6	1 2	1 0	2	0	2

ウ 管内精神病院入院状況

(平成30年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	5 0	3 4	1
十和田済誠会病院	2 5 0	1 9 2	3
高 松 病 院	2 3 9	2 3 8	
三沢聖心会病院	1 4 0	8 7	
計	679	5 5 1	4

エ 精神科救急医療システム利用状況

(平成29年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
3 5	9	4	6	6	0	6	0	6	2	7 4

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数

(平成30年3月末)

11161/11/01/11/11/11/11/11/11/11	——————————————————————————————————————		(+ 1,1% - c) U T U // // // //
	手帳所持者	手帳	所持者等級別	为訳
	総数	1 級	2 級	3 級
十 和 田 市	696	183	371	142
三 沢 市	324	135	146	43
野 辺 地 町	132	45	65	22
七戸町	131	41	69	21
六 戸 町	81	25	50	6
横 浜 町	41	14	23	4
東北町	147	46	79	22
六 ヶ 所 村	75	26	36	13
計	1,627	515	839	273

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況:年12回(第3水曜日)

嘱 託 医:十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数

(平成29年度)

	総件数		再 掲	
	心计数	定期	随時	電話
実数	7 0	1 2	1 7	4 1
延数	1 3 0	1 2	3 6	8 2

イ 目的別利用状況(延数)

(平成29年度)

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	倒ひやし必め	倒その他	計
定期	1	0	1	0	1	2	3	О	0	О	0	0	0	4	1 2
随 時	3	0	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2 6	3 6

ウ 市町村別件数 (延人数)

(平成29年度)

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横 浜 町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	4	3	0	1	0	0	2	1	1	1 2
随時	2 1	8	1	2	3	0	1	0	0	3 6

(4) 訪問指導状況

(平成29年度)

									, ,	
	保健卸	5(相談員	含む)	7	の他の職	員	合 計			
事業区分	一般	社会復帰	計·	一般	社会復帰	計	般	社会復帰	<u>†</u>	
実人数	1 6	0	1 6	0	0	0	1 6	0	1 6	
延人数	3 5	0	3 5	0	0	0	3 5	0	3 5	

(5) 普及啓発活動

- ア 平成29年度は、「明日を生きる力アップ推進事業」をとおして心の健康づくりや自殺予防に 関する知識の普及・啓発を行った。(詳細は、(8)を参照のこと)
- イ 青森多重債務被害等をなくす会(青森りんごの会)との協働事業 関係機関担当者会議・反省会 2回出席
- ウ その他

会議、研修会等で相談窓口一覧、心の健康づくりに関するパンフレット等を配布

(6) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。 ア 精神障害者家族会の状況

	家族会	活動内容等	作業所等運営 (名 称)
	とわだ家族会 (十和田市)		
家族会	さつき家族会(三沢市)	・総会	
会	山ざくらの会 (六戸町)	・学習会	
	つつじ家族会(東北町)	・会員間の交流 ・作業所等の運営	つつじ作業所
宏	野辺地町精神障害者家族懇談会	・当事者の会への協力	
家族懇談会	七戸町精神障害者家族懇談会 →平成 26 年度活動停止	・管内合同の学習・交流会の実施	
会	横浜町精神障害者家族懇談会		

イ 精神障害者家族会の活動及び支援状況

名 称	回数	内 容
つつじ家族会	1	つつじ作業所運営委員会に出席
上十三地区 精神障害者 家族学習交流会	3	 ・平成29年度事務局は、山ざくらの会(六戸町)が担当 ○実行委員会 2回出席(2回開催) ○家族学習交流会 1回出席 日時:平成29年10月18日(水)10時~14時30分場所:六戸町就業改善センター参加者:54名(家族、当事者、ボランティア、事業所、行政)テーマ:「笑顔でつながる明日へ」内容:①交流レクリエーション②情報交換会 ○平成30年度は東北町精神障害者家族会「つつじの会」が事務局である。

ウ 回復者クラブの活動状況

名 称	きざきのクラブ (三沢)
開催回数	年13回
会員数	5 名

エ 精神保健福祉ボランティアの活動状況

名 称	会員数	活動内容		
		○自主的な活動を継続している。		
		・定例会の実施		
駒の会	11名	・「サロンおあしす」の実施		
(十和田市)		・心のひろば「ルピナス」へ参加		
		※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。		
		平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。		
		○自主的な活動を継続している。		
ナッキナット	1 0名	・「サロンひだまり」の実施		
さつき友の会		・きざきのクラブ(回復者クラブ)の活動協力		
(三沢市)		・青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等		
		※平成14年4月に組織化		

才 民間団体

名 称	内 容
特定非営利活動法人ワーク	十和田市や医療機関等関係機関と連携し、自主的な活動
ハウスとわだ	を行っている。

(7) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議 (所内)

期日	開催内容	出席者	
平成 29 年	平成29年度精神保健福祉事業活動計画		
4月20日	十,以 2 3 十及相种保健個性爭業佔期計 回	保健総室長、次長、健康増	
平成 30 年	平成29年度精神保健福祉事業活動評価	進課長、健康増進課員	
3月12日	十成 2 9 千度相种保健個性争亲佔期計個		

イ 関係者連絡会議

会議名	期日	開催内容	出席者
上十三地域生活支援 広域調整会議	平成 30 年 1 月 22 日	・情報提供「上十三地域の 長期入院精神障害者の現 状」 ・事例紹介「精神障害者の 地域移行を実施して」 ・意見交換	3 4 名出席 精神科病院 指定一般相談支援事業所 市町村 福祉こども総室

上十三地域精神科救 急医療システム連絡 調整委員会	平成 30 年 1月 16 日	・精神科救急医療システム の運営状況について報告 し、円滑な運営に向けて 協議を行った。	30名出席 連絡調整委員会委員 (上十三医師会、救急医療施 設、警察署、消防本部、地域家 族会)市町村担当者
多分野合同研修会 (上十三地域自殺総 合対策ネットワーク 会議(意見交換会)) 包括的基盤強化事業「多 分野合同研修会」	平成 30 年 1月16日	・自殺企図者への支援・連携 状況や支援の中で感じる困 難さ等について情報共有を 行った。また圏域としてのリ ーフレット活用方法(配布機 関、配布方法、リーフレット の内容)について協議をし た。	30 名出席 精神科医療機関 救急告示病院 警察署 消防署 市町村
多分野合同研修会 (上十三地域自殺総 合対策ネットワーク 会議(事例検討会)) 包括的基盤強化事業「多 分野合同研修会」	平成 30 年 2月7日	「自殺企図のリスク評価及び 連携に向けて」のテーマのも と、実際の事例をもとに本人 への声掛け(第一声)、希死念 慮の評価方法、連携先等につ いて、ロールプレイやグルー プワークを行いながら、学び を深めた。	55 名出席 精神科医療機関、医療機関、警察署、消防本部、市町村社会福祉協議会、居宅介護支援事業所、市町村(健康づくり所管課、障害福祉所管課、生活保護所管課)、上北地域県民局地域健康福祉部福祉こども総室

ウ 市町村に対する支援

- ・東北町こころの健康づくり(自殺予防)対策協議会へ1回出席
- ・十和田市生涯健康づくり推進協議会 こころの健康づくり部会へ1回出席
- ・十和田市セーフコミュニティ領域別部会 全体会へ2回、自殺予防部会へ2回出席

エ ケース会議等

措置入院患者等が退院後も地域で治療を継続できるよう精神科医療機関でのケア会議に出席、処遇困難事例についてケース会議を開催した。

会議名	場所	回数	備考
	十和田市立中央病院	5	・本人、家族、関係者が退院後の治
精神障害 者ケース 検討会	十和田済誠会病院	4	療の継続や生活支援について検討 ・関係者が処遇困難ケースの支援に
	青南病院	1	ついて検討
	八戸市役所	1	(心身喪失者等医療観察法に係わる ケア会議を含む)

(8) 明日を生きるカアップ推進事業

ア 若者の生きる力アップ応援事業

・高校生向け自殺予防プログラムの作成及び評価

○自殺予防プログラム検討会(2回)

開催日: 平成29年5月29日(月)、12月12日(火)

開催場所:上十三保健所会議室

構成員:8名

アドバイザー1名、上北教育事務所1名、管内高等学校教諭2名、(養護教諭、生徒指導)、 県立精神保健福祉センター2名 (精神科医師、臨床心理士)、市町村保健師2名 (三沢市、 七戸町)

協力機関: 県教育庁学校教育課

内容:健康教育指導案等資料の検討、健康教育実施報告、事業評価

- 自殺予防健康教育の実施
 - ○事前打合せ 10校11回
 - ○健康教育 11 校 17 回

実施日	高校名	実施日	高校名
平成 29 年	三本木高校	平成 29 年	三沢高校(3 回目)
5月17日	二个个同仪	6月22日	; 二八同仪 (3 凹目 <i>)</i> ;
6月7日	野辺地高校(1回目)	7月19日	六戸高校
6月9日	野辺地高校(2回目)	7月20日	六ヶ所高校
6月14日	三本木農業高校(1回目)	9月4日	八戸学院野辺地西高校
0万14日	三本木農業高校(2回目)	9月21日	三沢商業高校
6月16日	十和田工業高校	11月29日	十和田西高校
6月19日	野辺地高校(3回目)	12月20日	七戸高校(1回目)
6月20日	三沢高校(1回目)	12月20日	七戸高校(2回目)
6月21日	三沢高校(2回目)		

・教職員への研修会の開催

「高校生のための自殺予防プログラム」普及研修会

開催日:平成29年8月9日(水) 場 所:サン・ロイヤルとわだ

参加者:44名(高校教職員17名・うち管内5名)

内容:・情報提供「学校における自殺予防健康教育について」 ・実践報告「上十三保健所の健康教育の実施について」

・講演・演習「高校生の自殺予防~自殺予防教育の方向性と課題」

講師・助言者 阪中 順子氏(兵庫県加古川市教育委員会教育相談センター)

・高校生のための自殺予防プログラムの周知・普及 事業報告書作成、関係機関へのプログラム送付

イ 職域ゲートキーパー育成事業

・職域ゲートキーパー育成講座

保健所保健師が講師となり、管内の希望のあった事業所に対し、講座を3回、延べ84人に実施。メンタルヘルスやゲートキーパーとしての役割・心得について、講話した他、DVD 視聴や演習を交えて、実施した。

期日	場所	対象	人数	講師
平成 29 年 4 月 25 日	上北中学校	上北中学校職員	20	
平成 29 年 8 月 28 日	十和田労働基準監		20	保健所
平成 29 平 0 月 20 日	督署		20	保健師
亚市 20 年 2 日 2 日	十和田地域広域事	十和田地域広域事務	4.4	
平成 30 年 2 月 8 日	務組合消防本部	組合消防本部職員	44	

・ 職域ゲートキーパー育成講座 事業 PR

期日	場所	対象	人数	講師
平成 29 年 4 月 26 日	上北労働基準協会	上十三地区労働災害	9.5	保健所
		防止連絡会議参加者	25	保健師

・ 職域ゲートキーパー育成研修会

	1 回目	2 回目						
期日	平成 29 年 9 月 6 日 (水)	平成 29 年 9 月 13 日 (水)						
場所	野辺地町中央公民館 第3会議室	JA 十和田おいらせ本店 3 階大会議室						
対象者	管内市町村の各課窓口担当者、生活・就労・経済・人権等相談窓口担当者、警察署職員、医療機関関係者、ケアマネージャー、上北地域県民局職員等							
人数	37 名	62 名						
内容	トを考える	課窓口と自殺予防」 会学科 教授 船木 昭夫氏 のサインの具体例 て、住民の悩みを引き出すポイン						
	・話の聴き方、専門相談窓口へのつなげ方 等							

・職域ゲートキーパー育成フォローアップ研修会

日時	平成30年1月31日 (水) 13:30~15:30
場所	サン・ロイヤルとわだ
対象者	平成 28~29 年度上十三保健所職域ゲートキーパー育成講座及び研修会の受講者 平成 28~29 年度に管内市町村が主催したゲートキーパー育成講座等の受講者
人数	41 名
内容	テーマ:「ゲートキーパーフォローアップ研修 -生きることにつなげるよりよい対応-」 講師 青森大学 社会学部 社会学科 教授 船木 昭夫氏 内容 講義及び演習 ・ゲートキーパーの心得について振り返り ・話の聴き方演習及び「悪い対応」「良い対応」に係るロールプレイ ・専門機関につなぐときの流れ、その後のフォローについて 等

6 難病関係

(1) 新たな難病の医療費助成制度

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が定める疾病(指定難病)に対して、一定の認定基準を満たしている方を対象に、その治療に係る医療費の一部を助成し、 医療費の負担軽減を図ることを目的とした制度である。

平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療費等に関する法律(難病法)」が施行され、医療費助成の対象となる疾病(指定難病)が難病法施行前の56疾病から110疾病となり、以降、毎年指定難病が追加され、現在は330疾病が指定難病となっている。

平成30年4月1日から新たに1疾病が追加されるため、これにより指定難病は合わせて331疾病となる。

ア 特定医療受給者の状況(市町村別)

(平成30年3月末)

疾	市町村	管	+		野					六
患			和	三	辺	七	六	横	東	ケ
番		内計	田	沢	地	戸	戸	浜	北	所
号	疾患名	ĦΤ	市	市	町	町	町	町	町	村
	合計	1189	449	219	110	111	85	30	130	55
2	筋萎縮性側索硬化症	16	6	2	3	2	2	0	1	0
4	原発性側索硬化症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	25	7	6	1	1	3	0	7	0
6	パーキンソン病	148	61	21	13	15	7	6	18	7
7	大脳皮質基底核変性症	5	0	3	1	1	0	0	0	0
8	ハンチントン病	2	0	1	0	1	0	0	0	0
11	重症筋無力症	28	12	7	1	1	4	0	1	2
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	27	7	7	4	2	4	1	2	0
14	慢性炎症性脱随性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	10	6	1	3	0	0	0	0	0
17	多系統萎縮症	18	6	4	1	1	2	1	2	1
18	脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を除く。)	180	98	21	11	26	9	2	11	2
19	ライソゾーム病	1	0	0	1	0	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
22	もやもや病	10	5	2	2	0	0	0	1	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	0	0	0	0	0	1	0	0
28	全身性アミロイドーシス	1	0	0	0	0	0	0	1	0
34	神経線維腫症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
35	天疱瘡	2	0	1	0	0	0	0	1	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	5	2	1	1	0	0	0	1	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	1	0	0	0	0	0	0	0
40	高安動脈炎	9	1	2	1	0	2	0	1	2
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	0	0	0	0	1	1

疾	市町村		+		野					六
患		管	和	三	辺	七	六	横	東	ケ
番		内	田	沢	地	戸	戸	浜	北	所
号	疾患名	計	市	市	町	町	町	町	町	村
43	顕微鏡的多発血管炎	8	2	2	0	1	0	2	0	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	1	2	0	0	0	1	1	0
46	悪性関節リウマチ	10	3	0	3	2	1	1	0	0
47	バージャー病	6	1	1	1	0	0	0	1	2
49	全身性エリテマトーデス	62	21	14	5	4	8	3	2	5
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	14	3	1	2	3	1	1	2	1
51	全身性強皮症	14	2	3	3	3	1	0	1	1
52	混合性結合組織病	19	8	5	1	1	1	0	1	2
53	シェーグレン症候群	4	1	3	0	0	0	0	0	0
54	成人スチル病	3	1	1	0	0	1	0	0	0
56	ベーチェット病	16	6	2	4	0	2	0	2	0
57	特発性拡張型心筋症		3	2	0	0	0	0	1	2
58	肥大型心筋症		5	0	0	1	2	0	0	2
60	再生不良性貧血	10	4	0	0	3	0	1	2	0
61	自己免疫性溶血性貧血		0	0	1	0	0	0	0	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	0	0	0	1	0	0	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	16	8	4	0	2	1	0	1	0
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
66	IgA 腎症	11	5	6	0	0	0	0	0	0
67	多発性囊胞腎	4	3	1	0	0	0	0	0	0
68	黄色靭帯骨化症	7	2	1	2	0	1	0	1	0
69	後縦靭帯骨化症	39	13	8	2	2	3	1	6	4
70	広範脊椎管狭窄症	6	1	1	0	1	0	0	2	1
71	特発性大腿骨頭壞死症	27	9	2	1	7	1	0	5	2
74	下垂体性PRL分泌亢進症	8	3	2	1	0	1	0	1	0
75	クッシング病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6	2	0	2	0	1	0	1	0
78	下垂体前葉機能低下症	21	10	3	2	1	2	0	3	0
84	サルコイドーシス	21	9	3	3	2	0	1	2	1
85	特発性間質性肺炎		0	4	1	0	0	0	1	2
86	肺動脈性肺高血圧症		1	1	3	0	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症		0	0	0	0	1	0	1	0
90	網膜色素変性症		6	7	0	2	1	1	2	2
91	バッド・キアリ症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性胆管炎	11	3	3	1	1	1	0	2	0

疾	市町村	haha	+		野					六
患		管内	和	三	辺	七	六	横	東	ケ
番			田	沢	地	戸	戸	浜	北	所
号	疾患名	計	市	市	町	町	町	町	町	村
95	自己免疫性肝炎	4	1	1	0	0	1	0	1	0
96	クローン病	58	16	12	5	9	5	3	4	4
97	潰瘍性大腸炎	174	61	31	16	12	15	4	29	6
107	全身型若年性特発性関節炎	3	2	0	1	0	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	6	2	4	0	0	0	0	0	0
117	脊髓空洞症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
119	アイザックス症候群	1	1	0	0	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡 (後天性表皮水疱瘡を含む。)	4	2	0	0	0	0	0	1	1
171	ウィルソン病	3	1	1	0	0	0	0	1	0
218	アルポート症候群	1	0	0	0	0	0	0	0	1
222	一次性ネフローゼ症候群	17	3	3	4	3	0	0	4	0
224	紫斑病性腎炎	2	1	1	0	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎 (ハンナ型)	1	0	0	0	0	0	0	1	0
227	オスラー病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	1	0	1	0	0	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	2	2	0	0	0	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	1	0	0	1	0	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形 (頚部顔面又は四肢病変)	1	0	0	0	1	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
300	IgG 4 関連疾患	1	1	0	0	0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0

(平成30年3月末)

		ı			,	. 1 /2/2		- / •	/	
疾	年齢階層		0	10	20	30	40	50	60	70
患		合計	~	~	~	~	~	~	~	歳
番			9	19	29	39	49	59	69	以
号			歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	上
	合計	1189	0	13	60	113	162	156	248	437
2	筋萎縮性側索硬化症	16	0	0	0	1	0	2	8	5
4	原発性側索硬化症	1	0	0	0	0	0	0	1	0
5	進行性核上性麻痺	25	0	0	0	0	0	2	3	20
6	パーキンソン病	148	0	0	0	0	2	6	24	116
7	大脳皮質基底核変性症	5	0	0	0	0	0	0	0	5
8	ハンチントン病	2	0	0	0	0	0	1	1	0
11	重症筋無力症	28	0	1	0	2	4	4	8	9
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	27	0	1	1	7	8	5	3	2
14	慢性炎症性脱随性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	10	0	0	0	0	3	0	2	5
17	多系統萎縮症	18	0	0	0	0	0	3	8	7
18	脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を除く。)	180	0	0	2	0	3	11	41	123
19	ライソゾーム病		0	0	0	0	1	0	0	0
21	ミトコンドリア病	1	0	0	0	0	0	0	1	0
22	もやもや病	10	0	1	1	3	1	2	2	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	0	0	0	1	0	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	1	0	0	0	0	0	0	1	0
34	神経線維腫症	1	0	0	0	1	0	0	0	0
35	天疱瘡	2	0	0	0	0	0	0	1	1
37	膿疱性乾癬 (汎発型)	5	0	1	0	1	1	1	0	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
40	高安動脈炎	9	0	0	0	3	0	1	5	0
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	0	0	2	0	0	0
43	顕微鏡的多発血管炎	8	0	0	0	1	0	1	2	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	0	0	0	0	1	0	0	0
45	好酸球多発血管炎性肉芽腫症	5	0	0	0	0	1	1	2	1
46	悪性関節リウマチ	10	0	0	0	0	3	1	4	2
47	バージャー病	6	0	0	0	0	4	1	1	0
49	全身性エリテマトーデス	62	0	1	5	11	13	11	16	5
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	14	0	0	1	1	1	2	5	4
51	全身性強皮症		0	0	0	0	3	2	4	5
52	混合性結合組織病		0	0	1	1	5	6	4	2
53	シェーグレン症候群		0	0	0	0	0	0	2	2
54	成人スチル病	3	0	0	0	0	0	1	2	0
56	ベーチェット病	16	0	0	1	1	5	2	5	2
		·			1			L	·	

疾	年齢階層		0	10	20	30	40	50	60	70
患		合	~	~	~	~	~	~	~	歳
番		計	9	19	29	39	49	59	69	以
号	疾患名		歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	上
57	特発性拡張型心筋症	8	0	0	0	0	1	3	3	1
58	肥大型心筋症	10	0	0	1	1	1	4	2	1
60	再生不良性貧血	10	0	0	0	1	1	0	4	4
61	自己免疫性溶血性貧血	1	0	0	0	0	0	0	0	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	0	0	0	0	0	0	1	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	16	0	0	2	4	0	4	1	5
65	原発性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	1	0	0	0
66	IgA 腎症	11	0	0	0	3	3	2	3	0
67	多発性囊胞腎	4	0	0	0	0	1	1	2	0
68	黄色靭帯骨化症	7	0	0	0	0	0	2	1	4
69	後縦靭帯骨化症	39	0	0	0	1	4	8	6	20
70	広範脊椎管狭窄症		0	0	0	1	0	1	1	3
71	特発性大腿骨頭壞死症		0	0	1	0	7	7	7	5
74	下垂体性PRL分泌亢進症		0	0	2	2	3	1	0	0
75	クッシング病		0	0	1	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6	0	0	0	0	1	2	1	2
78	下垂体前葉機能低下症	21	0	0	1	4	4	2	3	7
84	サルコイドーシス	21	0	0	0	6	0	6	4	5
85	特発性間質性肺炎	8	0	0	0	0	0	0	3	5
86	肺動脈性肺高血圧症	5	0	0	1	0	1	1	0	2
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	0	0	0	0	0	0	1	1
90	網膜色素変性症	21	0	0	0	1	1	2	6	11
91	バッド・キアリ症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
93	原発性胆汁性胆管炎	11	0	0	0	0	2	1	5	3
95	自己免疫性肝炎	4	0	0	0	1	1	0	2	0
96	クローン病	58	0	3	12	13	16	11	2	1
97	潰瘍性大腸炎	174	0	4	16	29	42	26	30	27
107	全身型若年性特発性関節炎	3	0	0	2	1	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	6	0	0	0	3	1	1	1	0
117	脊髓空洞症	1	0	0	1	0	0	0	0	0
119	アイザックス症候群		0	0	0	1	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症		0	0	0	0	0	0	0	1
158	結節性硬化症		0	0	1	0	0	0	0	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)		0	0	0	0	1	0	1	2
171	ウィルソン病	3	0	0	1	2	0	0	0	0
218	アルポート症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0

疾	年齢階層		0	10	20	30	40	50	60	70
患		合	~	~	~	~	~	~	~	歳
番		計	9	19	29	39	49	59	69	以
号	疾患名		歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	上
222	一次性ネフローゼ症候群	17	0	0	2	0	8	3	1	3
224	紫斑病性腎炎	2	0	0	0	2	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎 (ハンナ型)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
227	オスラー病		0	0	0	0	0	0	0	1
235	副甲状腺機能低下症	1	0	0	0	0	0	1	0	0
254	ポルフィリン症	1	0	0	0	1	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	2	0	0	1	0	0	0	1	0
276	軟骨無形成症	1	0	0	0	0	0	1	0	0
280	巨大動静脈奇形 (頚部顔面又は四肢病変)	1	0	1	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	1	0	0	0	1	0	0	0	0
300	IgG 4 関連疾患	1	0	0	0	0	1	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	1	0	0	0	1	0	0	0	0

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

目 的: 難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 医療相談等

パーキンソン病患者及び家族を対象に実施。

期日	場所	内容	参加者数
平成 29 年 10 月 2 日 (月)	十和田市民文 化センター (十和田市)	対象疾患:脊髄小脳変性症 内 容: 1 講話及び実技「機能訓練の必要性と日常生活の 工夫について」 講師 青森県立保健大学健康科学部理学療法 学科准教授 川口 徹 氏 2 交流会 3 個別相談	45 名 (患者 14 名、 家族 19 名、 関係者 4 名、 保健所 8 名)

イ 訪問相談 (難病患者等訪問相談員による訪問相談)

疾患群	疾患名	実件数	延件数
	筋萎縮性側索硬化症	4	7
神経・筋疾患	進行性核上性麻痺	2	2
	パーキンソン病	3	4
	多系統萎縮症	2	3
	脊髄小脳変性症	3	4
合 計		14	20

ウ 上十三地域難病対策連絡会議

期日	場所	内容	参加者数
平成 29 年 10 月 31 日 (火)	サン・ロイヤルとわだ	1 情報提供 上十三保健所管内の難病対策の概要について 情報提供者:上十三保健所 郡川 愛 2 話題提供 地域における神経難病患者支援について 話題提供者:訪問看護ステーションえがお 所長 南 輝美氏(難病看護師) 3 グループワーク テーマ「上十三地域における難病患者の支 援で必要なこと」	72名 (関係者 67名、 保健所 5名)

(3) 保健師による訪問指導

(平成30年3月末現在)

疾患群	疾患名	実件数	延件数
	筋萎縮性側索硬化症	9	19
	進行性核上性麻痺	6	6
	パーキンソン病	10	10
 神経・筋疾患	重症筋無力症	2	2
仲	慢性炎症性脱髓性多発神経炎/	1	1
	多巣性ニューロパチー	1	1
	多系統萎縮症	7	9
	脊髄小脳変性症	8	10
免疫系疾患	悪性関節リウマチ	1	1
	皮膚筋炎/多発性筋炎	1	1
骨 • 関節系疾	後縦靭帯骨化症	2	2
患	軟骨無形成症	1	2
呼吸器系疾患	サルコイドーシス	1	1
	特発性間質性肺炎	1	3
視覚系疾患	網膜色素変性症	1	1
消化器系疾患	クローン病	1	1
合 計		52	69

(4) 重症難病患者在宅療養支援事業

ア 目 的

人工呼吸器を装着して在宅療養を行っている重症難病患者の介護を行う者が、疾病、 冠婚葬祭や休息等の理由により当該患者を在宅において介護することができない場合に、円滑に適切な医療機関に一時入院できるよう体制整備するとともに、やむを得ない事情により一時入院が困難な患者に対しては看護人を派遣することにより、患者の安定した在宅療養の確保と患者及びその家族の生活の質の向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数

一時入院の期間は同一年度で患者一人あたり14日を限度とする。

看護人の派遣の期間は、患者一人当たり月7時間以内とし、利用回数は月2回まで 分割することができる。

ウ 管内利用者

2名(看護人派遣)

1名(登録のみ)

(5) 健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証 交付申請や変更等の手続きや受給者証交付時に、個別面接相談及び電話による相談等にも 対応している。

(平成30年3月末)

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
387 件	129 件	13

(6) 患者会の育成・自主活動支援

特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援

平成9年3月27日に患者会として発足し、平成18年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は定例会での講話等で活動を支援している。また、特定疾患医療受給者証の新規交付者に対して、「みさわ・もみじの会」の紹介のリーフレットを配布し、会の活動紹介をしている。

日時: 平成 29 年 6 月 21 日

場所:三沢市総合社会福祉センター

参加者:特定医療費助成について情報提供、申請の支援

(7) 関係機関との連携

・ケア会議:4回

(疾患別: 筋萎縮性側索硬化症2回、脊髄小脳変性症1回、特発性間質性肺炎1回)

- ・関係機関連絡:医療機関ソーシャルワーカー、居宅介護支援事業所職員、町保健師等と個別ケースの連絡等、必要時関係機関と情報共有して支援した。
- ・横浜町「神経難病患者支援のための医療・介護連携研修会」(在宅医療・介護連携推進事業)において情報提供

日時: 平成 29 年 12 月 7 日 (木)

場所:横浜町役場

参加者:21名

情報提供:「上十三管内の難病対策について」技師 郡川 愛

(8) 災害基本法に基づく「避難行動要支援者名簿」作成のための難病の特定 医療受給者に関する個人情報の提供等について

依頼のあった2町村(東北町、横浜町)に提供した。

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉包括ケアシステムを構築する ことが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1)保健・医療・福祉包括ケアシステムに係る現地懇談会

期日	場所	内 容	参加者数
平成 29 年 10 月 20 日	六ヶ所村保健 相談センター コミュニティ ホール	(1)情報提供①六ヶ所村の包括ケアの取組②六ヶ所村 健診受診率アップに向けての取組(2)懇談	24名(青森県知事、健康福祉部長、上北地域県民局長、六ヶ所村長、他関係職員)
平成 29 年 11 月 27 日	三沢市総合 社会福祉セン ター 2 階 多目的ホール	(1)情報提供 ①三沢市における包括ケアの取組み ②三沢市におけるライフステージに応じた歯科保 健対策 (2)懇談	33 名(青森県知事、健康福祉部次長、上北地域県民局長、三沢市長、他関係職員)

(2) 上十三地域橋渡し連携・パスネットワーク委員会

本委員会は、上十三地域の保健、医療、介護を必要とする状態の方が、住み慣れた地域で、最後まで自分らしい人生を送るために適切なケアやサービスが受けられるよう、退院調整や情報提供を行い、また、地域で療養されている方が医療機関に入院する場合にもスムーズに移行できるように、関係機関(医療機関と介護サービス事業者、行政など)の地域連携担当者が連携を推進し、調整を行うことを目的としている。平成25年度から十和田市立中央病院が事務局となり、委員会を開催し、当総室は委員として参加している。

ア 委員 15名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、六戸町国民健康保険病院、三沢市立三沢病院、メディカルコート八戸西病院、居宅介護支援事業所えがお、十和田市高齢介護課包括支援センター、十和田市健康増進課、七戸町地域包括支援センター、六戸町地域包括支援センター、上十三保健所

イ 会議出席状況

回数	期日	場所	内 容
1	平成 29 年 6月13日	十和田市立中央病院 別館2階会議室	今後のネットワーク委員会の取り組みについて 年間開催計画について 情報交換

(3)介護予防事業及び市町村支援 延べ15回

各市町村の地域ケア会議等へ委員として出席し支援した。

(4)上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

「保健・医療・福祉包括ケアシステム」の構築・発展に向け、二次医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議検討を行うために設置している。平成 29 年度は上十三地域保健医療推進協議会と併催した。

期日	場所	内 容	出席者数
平成 29 年 9 月 28 日	富士屋グラン ドホール 2階 平安の間	(1)青森県保健医療計画について ア説明事項 (ア)青森県保健医療計画の見直しについて (イ)上十三圏域における5疾病、5事業及び在宅医療に係 る状況について イ協議事項 上十三圏域において重点的に取り組む事項(案)に ついて (2)「健康上十三21(第2次)」について ・報告事項 目標項目の達成状況について (3)その他	委員 18名 (内、代理出席 3名)、 随行 1名、 事務局 10名、 出席者 計 29名

(5) 上十三保健所管内認知症地域連携促進事業

二次医療圏単位で、認知症に係る地域連携の課題の抽出や問題解決に向けた検討を行い、早期発見・早期対応のための体制整備や医療・介護の連携を推進することを目的に開催した。

回数	期日	場所	内 容	出席者数
1	平成 29 年 8月 30 日	十和田市民図 書館 多目的 研修室1・2	(1)情報提供 「認知症総合支援事業に関する五戸町の取組について」 情報提供者:五戸町福祉保健課 班長 壬生 洋氏 (2)情報交換 「認知症施策推進に向けた管内市町村の進捗状況と課題」 ①認知症初期集中支援推進事業(認知症初期集中支援チーム)について ②認知症地域支援・ケア向上事業(認知症地域支援推進員)について (3)助言	管内市町村職員、県高齢福祉保険課職員等計18名

2	平成 30 年 2月15日	サン・ロイヤ ルとわだ2階 孔雀の間	(1)事例紹介「認知症初期集中支援推進事業を活用した事例等」(2)意見交換「効果的な認知症初期集中支援推進事業の実施に向けて」	認知症サポー ト医、管内市 町村職員等 計 22 名
---	------------------	--------------------------	--	-------------------------------------

(6)上十三圏域医療介護連携調整実証事業

入院している要介護(要支援)状態の方が医療機関を退院する際に、医療機関とケアマネジャーとの間で着実な引継を行うために、医療機関、居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所のケアマネジャー、市町村(地域包括支援センター)が協議を重ね、平成29年3月に退院調整のためのルールを策定した。

会議名	期日	場所	内 容	出席者
市町村担当者等会議	平成 29 年 11 月 30 日	上十三保健 所 2 階 会議室	(1)情報提供 上十三圏域における退院調整ルールモニタ リング及び病院アンケート結果について (2)意見交換 ・効果的な退院調整ルールの運用について ・来年度の退院調整ルールについて	市町村職員等 計17名
病院・ケアマ ネ協議	平成 29 年 12 月 22 日	サン・ロイ ヤルとわだ 2階 孔雀の間	(1)情報提供 上十三圏域における退院調整ルールモニタ リング調査(医療機関・ケアマネジャー) 結果について (2)意見交換 退院調整ルールの課題及び見直しについて	管内でである。

8 人材育成

(1)管理栄養士学生実習

大学名	実習期間	実習人数
青森県立保健大学	平成 29 年 6 月 19 日~6 月 23 日 5 日間	4 人
東北生活文化大学	平成 29 年 6 月 19 日~6 月 23 日 5 日間	1 人

(2) 初任期・新任期保健師研修

「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、初任期保健師研修(採用1年目)と、新任期保健師研修(採用2~5年目)に区分し研修を実施した。

ア 対象者

初任期保健師:三沢市1人、野辺地町1人、七戸町1人、六戸町1人、保健所1人新任期保健師:十和田市2人、三沢市1人、野辺地町1人、六戸町1人、六ヶ所村

3人、保健所3人

イ 実施状況

初任期保健師研修(4回)

回数	期日	内容	参加者数
1	平成 29 年 7月7日	・講話「地域における保健師活動について」 ・グループワーク「地区診断をしてみよう」 (新任期保健師研修合同)	5 人
2	平成 29 年 9月7日	・乳幼児の運動発達(はまなす医療療育センター)	5 人
3	平成 29 年 10 月 26 日	・障害児保育施設等施設見学 ・事例検討「在宅に向けた小児慢性特定疾病児童への支援」 ・研修伝達「保健師の記録のあり方と実践活動に活かすポイントを考える」	5 人
4	平成 30 年 1月 30 日	・演習発表「地区診断のまとめ」・意見交換(新任期保健師研修合同)	5人

新任期保健師研修(2回)

回数	期日	内容	参加者数
	平成 29 年	・講話「地域における保健師活動について」	
1	7月7日	・グループワーク「地区診断をしてみよう」	10人
	7月7日	(新任期保健師研修合同)	
	平成 30 年	・演習発表「地区診断のまとめ」	
2		・意見交換	11人
	1月30日	(新任期保健師研修合同)	

(3)新任等保健師育成支援

保健所及び市町村の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援し、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的として実施した。

1) 実施市町村(青森県新任等保健師育成支援事業)

市町村名	対象		トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
三沢市	1年目	1人	畑山 政子氏	18日
野辺地町	1年目	1 人	濱中理智子氏	18日
六戸町	1年目	1 人	長瀬比佐子氏	2 1 日
七戸町	1年目	1人	田中 砦子氏	2 1 日
六ヶ所村	3年目 (保育所2年)	1 人	濱中理智子氏	18日

2)保健所保健師等育成支援事業

対象		トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
1年目	1人	北山 つね子氏	17日

(4)保健師連絡会議

管内保健師の資質の向上と保健師間の情報の共有を図り、連携を強化して管内の保健活動を推進することを目的に開催した。

回数	期日	内 容	参加者数
1	平成 29 年 7月 28 日	① 講話「青森県の保健師活動とこれから」 青森県がん・生活習慣病対策課 三浦総括副参事 ② 話題提供「保健師活動と統括保健師の役割」 野辺地町健康づくり課 飯田課長 ③ グループワーク	市町村 22 人 保健所 11 人
2	平成30年1月9日	①情報提供「市町村自殺対策計画策定の進め方」 青森県障害福祉課 蓬畑主査 ②グループワーク ③研修伝達「久里浜アルコール依存症研修」	市町村 21 人 保健所 11 人